

# いけだ

No.112

議会だより

平成28年10月26日発行

## 若き力を弾ませて

“池田八幡神社例大祭” 船曳き



### 9月定例会

平成27年度決算審査について …… P.2～3

- ・ 町のお金はどのように入り、使われたか
- ・ 決算に対する指摘事項

補正予算の目玉 …… P.8～9

ここが聞きたい(一般質問) …… P.11～14

# 全会計で総額約2億1940万円の黒字となり実質公債比率も

と認定。  
運営を求める。

## 9月定例会の概要

9月定例会は9月8日～21日まで開かれた。27年度決算の認定7件、28年度補正予算など8議案を審議し全て認定・議決した。陳情1件を採択し、国・県などの関係機関に意見書を送付した。

### 予算決算特別委員会指摘事項



矢口 稔

予算決算特別  
委員会委員長

- 町の事業を見直し、時代が求める課題の解決に向け、効率的な行政運営がなされるよう組織改正を検討されたい。
- 水道事業会計の補てん可能な利益剰余金（7億7,585万円）を用い、水道料金の軽減・未償還金の繰り上げ償還に利用できないか検討されたい。

### 監査委員会指摘事項



吉沢 暢章

監査委員

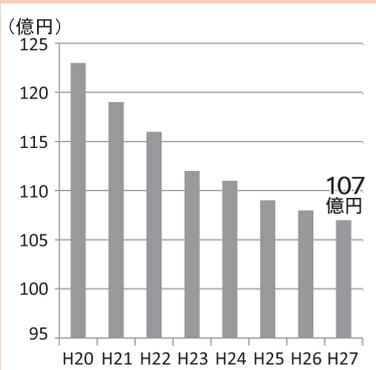
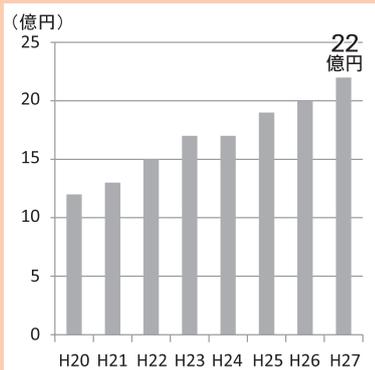
- 町税・国保税・上下水道水道料などの未納額（1億7,119万円）への収納努力は評価するが、徴収強化月間を設けるなど、各課の連携を図り、更なる努力をされたい。
- 委託料や補助金などは事業内容、評価、成果を明確にされ執行されたい。

### 27年度各会計の黒字額

内 容	黒字額 (単位：万円)
一般会計	4,740
工場誘致等特別会計	609
国民健康保険特別会計	10,653
後期高齢者医療特別会計	10
下水道事業特別会計	119
簡易水道事業特別会計	36
水道事業会計	5,777
合 計	2億1944万円



### 町の基金(貯金)と地方債(借金)はいくらあるの？



貯金

町の基金(貯金)は約21億9,918万円(水道事業会計を除く)あり、昨年より約2億円増加した。

1世帯当たり 56万円  
1人当たり 21万円

借金

町の借金は全会計で約106億6,800万円あり、昨年より約1億6,400万円減少した。

1世帯当たり 272万円  
1人当たり 104万円

### 27年度までの未納額累計

内 容	未納額 (単位：万円)
一般会計 (町税、住宅使用料、保育料など)	6,563
国民健康保険特別会計 (国保税)	7,018
後期高齢者医療特別会計 (後期高齢者保険料)	54
下水道事業特別会計 (下水道使用料など)	947
簡易水道事業特別会計 (水道使用料)	33
水道事業会計 (水道使用料)	2,505
合 計	1億7119万円

ひと  
メモ

- 一般会計：特別会計に属さない福祉・教育・防災など広い町民サービスの会計
- 実質公債比率：全会計の借金返済額（公債費）が標準財政規模（町収入）に対する比率、18%以上になると借金をするのに県（国）の許可が必要となる。

# 平成27年度 決算

一般会計・特別会計・水道事業会計の0.3ポイント低下し、5.2%となる。  
“おおむね良好な財政運営がなされた”  
大型事業を控え、さらに効率的な行政

## 💡 27年度 町のお金(一般会計予算)はどのように入り・使われたの？

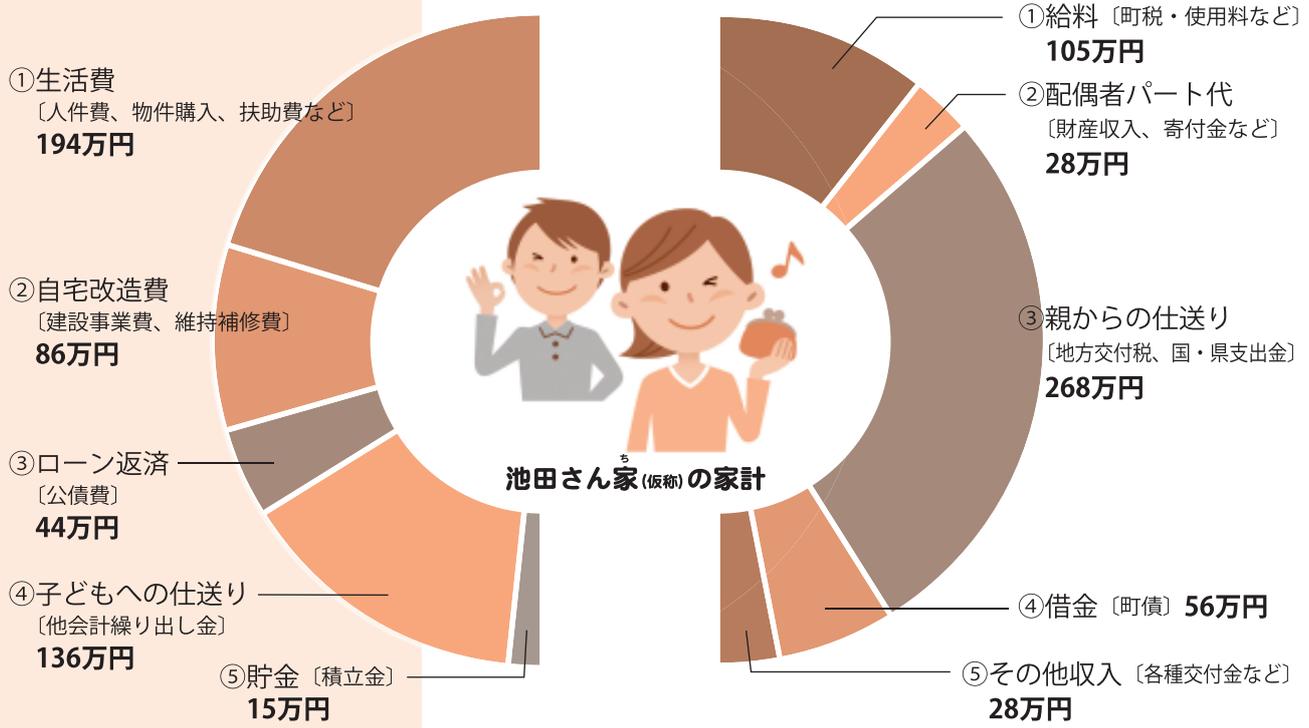
町の財政状況を池田さん家ち(仮称)の家計に置き換えてみました

**支出** 歳出決算額47億5千万円を  
年支出475万円として  
(1世帯当たり 121万円)  
(町民1人当たり 46万円)

**収入** 歳入決算額48億5千万円を  
年収入485万円として  
(1世帯当たり 123万円)  
(町民1人当たり 47万円)

年間支出 475万円

年間収入 485万円



町予算の自主財源は町税、使用料・手数料、その他の約13億3,500万円(27.6%)にすぎない。町財政は国からの地方交付税、国・県支出金などの依存財源(約35億1,500万円、72.4%)をたよりに運営している。

27年度の「ふるさと応援寄付金」は1,993万円となり、大幅に増えたが、さらに増やすなど自主財源の確保が求められる。

**27年度の主な使われかた**

- 学校施設改修事業 1億6,225万円
- 安曇総合病院改築補助金 1億3,000万円
- 消防団詰所・消防車整備 1億2,077万円
- 消防無線デジタル化事業 4,644万円
- 街路灯整備事業補助金 3,998万円

**ひと口メモ** 配偶者パート代：財産収入、寄付金、諸収入      その他収入：自動車取得交付金などの交付金  
人件費：職員給与、議員報酬など      物品購入費：需用費、賃金、備品購入費など      扶助費：生活保護費・児童手当など

# 平成27年度 一般会計決算

## 総務課

### 滞納金の取り立て

**問** 滞納金の取り立てを県地方税滞納整理機構に委託する基準は何か。また、違法な取り立てはないか。

**答** 金額が多額で徴収に応じてもらえない6人をお願いしている。法律に則り実施し、違法な取り立てはない。



災害備蓄品が蓄えられている「池田町防災倉庫」(相道寺)



# 決

# 算

# 審

# 査

## 質疑内容

### 災害備蓄品の更新は

**問** 災害備蓄食料品の賞味期限・廃棄などの考え方は。

**答** だいたい5年をめぐりに毎年少しずつ更新している。賞味期限がきているものは学校や防災活動で利用していたでている。

## 住民課

### 自治会未加入者のゴミ対応は

**問** 自治会未加入の方からゴミステーション設置の要望がある。そのような場合の対応は。ゴミステーション設置の基準はあるのか。

**答** 自治会未加入の方は、もよりの公施設のごみステーションに出していただいても良い。ゴミステーションは自治会所有なので町の基準はない。

## 福祉課

### 来年度からの介護保険制度は

**問** 介護保険の要支援の訪問看護と通所介護は来年度から町の総合支援事業に移る。準備状況は。最終案はいつ出るのか。

**答** 北アルプス広域連合に毎月複数回担当者が集まり協議している。9月に案が示され、検討している。住民研修会が10月頃池田町でも開催される。来年の1月〜2月には最終案が出ると思う。



伸びゆく池田っ子

### 子どもたちの発達は

**問** 子育て支援で発達障がい<sup>1</sup>の現状は。発達障がいは3割くらいに増加している。愛着障がいも入れると5割くらいである。これからは可能性を摘むことがないように支援しなければならぬ。

**答** 発達障がいは3割くらいに増加している。愛着障がいも入れると5割くらいである。これからは可能性を摘むことがないように支援しなければならぬ。

**問** 新子ども支援センター長として現状をどう捉えているか。

**答** 池田の子どもは素直で明るく、丁寧に育てられていると思う。虞犯<sup>2</sup>(非行)0はこれによると思う。

しかし、愛着障がい(自己肯定感の低い)の子どもは増加傾向にある。丁寧な対応が必要と考えている。

## 保育課

### 会染保育園の動き

**問** 会染保育園の建て替えはどのように進めるか。

**答** 方針は本年度内に決めたい。

## 保育料の無料化の見通しは

**問** 3歳未満児の第3子保育料無料化の見通しは。

**答** (3歳以上児は平成29年4月より実施予定。)3歳未満は愛着形成に重要な時期である。

なお、未満児の第3子保育料無料化を実施するには財源・保育室・保育士の確保が必要である。状況をみながら方針を検討する。

## 保育料の27年度分未納が0に

**問** 保育料・延長保育料の27年度分未納がなくなり評価できる。取り組み内容は。

**答** 督促状の様式を変更し、期限内納付を促したことにより保護者の意識が向上したものと考えられる。

## 振興課

## 花とハーブ再生への道すじ

**問** 花とハーブの里リブランディング事業のホームページがフェイスブックになっており、アクセスで「いいね」も少なかったため検証を。また、事業参加者を町なかに誘客するなど今後の展開は。

**答** 今後、地域おこし協力隊員の協力も得てWebサイトの更新をこまめに行う。また、都市部の企業と契約し、誘

客を図る。町民の方の力も借り、町なかに誘客する方法を検討したい。モニターツアーの講師に町内の方に協力いただき、共に事業を進めていきたい。

## 進まない農家民宿

**問** 農家民宿の取り組みは。

**答** 13軒の方がやっても良いとしたが、修学旅行は3〜4クラスの100名規模なので町単独の受け入れが困難と判断した。意欲のある方は松川村との連携をお願いしている。

## 建設水道課



登波離橋での橋点検

## 危険な橋の点検結果は

**問** 橋の点検はどこまで進んでいるか。点検の結果で大きな問題点がある

のか。

**答** 117の橋があり27橋まで点検が終わっている。今までのところ使用停止(レベル4)の橋はないが、早期改修(レベル3)の橋が7ある。本当に改修が必要か検討する。

## 教育委員会

## 子どもたちの安心安全対策

**問** 小学1年生への熊予防の鈴は入学祝いとして無料化を検討して欲しい。

**答** 町は鈴購入希望者から1800円の鈴代のうち300円を負担してもらっている。先生方の意見も聞きながら検討したい。



子どもたちの鈴

## 児童センターの開館時間

**問** 児童センターの開館時間を夏休みなど長期休暇の場合は7時30分にして欲しい。

**答** 来年度から7時30分実施に向け検討したい。

## 平成27年度 水道事業会計決算

## 建設水道課

## 利益剰余金と水道料金

**問** 利益剰余金が7億7585万円ある。これを使い水道料金を下げられないか。

**答** 施設・設備の更新に要する資金も用意しておかなければならない。人口減もあり、今後の収支状況を検討していくなかで料金も考えたい。

## 早期の借金返済

**問** この会計の未償還残高(借金)は4億7186万円である。利益剰余金(貯金)は7億7585万円あり利益剰余金の方が大きい。未償還残高を返してしまえば利子を払わないで済む。どのように考えるか。

**答** 財政投融资・地方公営企業等金融機構については通常繰り上げ償還できないが、数年前、経営改善計画を県・国に提出し、高い利率の繰り上げ償還をおこなったこともある。県と相談し、研究してみたい。



# 審査結果

9月定例会  
提出案件

区分	件名	内容	審査結果
認定	平成27年度一般会計決算の認定	同左会計の歳入・歳出決算を審査	認定
認定	平成27年度工場誘致等特別会計決算の認定	同上	認定
認定	平成27年度国民健康保険特別会計決算の認定	同上	認定
認定	平成27年度後期高齢者医療特別会計決算の認定	同上	認定
認定	平成27年度下水道事業特別会計決算の認定	同上	認定
認定	平成27年度簡易水道事業特別会計決算の認定	同上	認定
認定	平成27年度水道事業会計決算の認定	同上	認定
議案	税条例の一部を改正する条例	国の法律改正により台湾国籍の人の町税課税について規定	可決
議案	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	国の法律改正により台湾国籍の人の国民健康保険税課税について規定	可決
議案	町道の路線の認定	内鎌地区の道を町道に認定	可決
議案	平成28年度一般会計補正予算	同左補正予算を審査	可決
議案	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算	同上	可決
議案	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算	同上	可決
議案	平成28年度下水道事業特別会計補正予算	同上	可決
議案	平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算	同上	可決
陳情	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情	私立高校への公費助成を願う陳情	採択
発議	国に私立高校に対する公費助成をお願いする意見書	国に私立高校への公費助成を願う意見書	可決
発議	県に私立高校に対する公費助成をお願いする意見書	県に私立高校への公費助成を願う意見書	可決

## 27年度一般会計決算認定についての賛成討論

服部 久子

### 27年度決算において次の点を評価する

- ① バス運行事業で割引回数券や定期券利用で改善措置がなされ、乗客増につながったこと。
- ② 地域おこし協力隊員を採用し、高齢者の体力作りや特産品開発など新たな目線で取り組まれたこと。今後、さらに町民生活を第一に考えた町政運営を求め、賛成討論とする。

**お詫び** 議会だより111号中の2頁「大北医師会との」は、「大北歯科医師会との」の誤りです。ここにお詫び申し上げます、訂正させていただきます。

## 予算決算特別委員会の審査意見

### 評価できる事項

- 災害時の避難要支援者の避難所となる福祉避難所の仕組みを作成したこと。

### 検討すべき事項

- 質の異なる自然災害が多発している。災害対応への取り組みを強化されたい。  
次の100年に向け人口減を抑える取り組みに努力されたい。
- ゴミ収集量が再び増加し、穂高広域施設組合参加自治体で最下位となった。対策を講じられたい。
- 来年度から介護保険の要支援の訪問介護と通所介護が町の総合支援事業に移行される。町民サービスの低下にならないよう北アルプス広域連合と連携し努力されたい。
- 会染保育園の早期移転開設に向け、具体的取り組みを開始されたい。

- ワインの里づくりに向け、具体的な取り組みをさらに進められたい。
  - 今後増える大雨対策として、内川とは別の、大きな排水路設置に向け早急に研究されたい。
  - 地域交流センターの公民館・図書館が町民に親しまれ交流の場となるよう計画策定・町民応援団の育成に努力されたい。
- ※上記の審査意見についての町対応を文書回答で求めました。



## 監査委員の審査意見

監査委員 吉澤暢章・立野 泰

### 評価できる事項

- 町営バスの運営について、回数券や定期券の見直しにより利便性が図られた。

### 検討すべき事項

- 各課に対応した「不能欠損の基本マニュアル」を作成し、経過などが分かるようにされたい。  
《不能欠損とは》何らかの理由で徴収が行えず、今後も徴収の見込みがたたないため、町がその徴収をあきらめること。
- 支出にあたり、事業完了後（相手からの請求後）の支払遅延のないよう円滑な事務処理をお願いしたい。
- あづみ野池田総合戦略が作成され、町の具体的な取り組みが示された。この総合戦略を活かした事業の推進をされたい。
- 社会資本総合整備事業を筆頭に、大型事業が計画されている。執行にあたっては、情報開示を逐次され、町民の理解を得ながら慎重審議をされるようお願いしたい。

- 保育士、社会福祉士などの有資格者の採用に苦慮されていると思う。大北広域圏や他市町村との連携を図られ、人材確保を積極的に行い、人材育成に力を入れられたい。
- 職員管理者不在の部署があるとのことである。職員の出勤・退庁などが確認できるようタイムカードなどの導入を検討されたい。
- 挨拶をかわし、明るい窓口対応を心掛けられたい。
- 作成されたストレスチェックを活用され、職場内の心因性による休職者を出さないよう、職員の適正な人事配置も含め、さらなる就労環境の改善をされたい。



役場窓口での職員対応

# め、産業振興・町民要望の 正予算を可決！

## 質 疑

### 障がい者雇用

**問** 現在の役場規模で障がい者雇用の程度は。雇用形態は臨時職員でも良いのか。また義務とされている雇用人数は。

**総務課長** 法定雇用障がい者は正規・臨時職員で2名雇用が義務づけられている。

### ふるさと納税

**問** ふるさと納税推進のため、ハガキ戦略をする話で切手を貼って出してもらうとのことだが、切手不要方法の検討は。

**総務課長** 郵送方法として料金後納などの適用ができないので、切手での協力をお願いします。

### 町営バス

**問** 町営バス1台が更新される。町営バスの現状は。

**住民課長** バス総数は8台である。順次更新が必要な時期にきている。



走行距離が40万kmとなり更新される安曇野線バス

### 海外販路開拓等 推進事業

**問** 本事業で日本酒の販売が進み、酒米の増産を期待する。米の海外販路開拓を3市町村で連携し取り組んで欲しい。

**振興課長** 事業計画の重要課題とし取り組む。



増やしたい酒米

### 大北森林組合 問題

**問** 大北森林組合が町へ返還する金額はいくらか。また、今後の返還の見通しは。

**振興課長** 町への返還額は約1,000万円である。県は返還については森林組合へ計画見直しを指導している。今後、県との協議をしていく。

### 豪雨対策

**問** 大雨時、街中の雨水が内川に入り、内川が溢れ吾妻町から町の南部まで水害になる。防止対策として、内川とは別の大きな排水路の敷設を検討すべきだ。

**町長** 大雨が降ると街中の水路があふれる。水路全体の見直しを研究する。



記録的大雨で越水が心配される内川

# 社会資本総合整備事業を進 実現に資する補

 平成28年度一般会計補正予算で決まった事業はなに？

## 目玉事業 ピックアップ

**地域交流センター  
東の用地取得**

**6,543万円**

財源：一般財源 2,453万円  
起 債 4,090万円



とり壊され整地される旧アップルランド  
(取得面積2772.9㎡)

- ・土地購入費 4,468万円
- ・補償料 1,954万円

**道路・河川改修  
(自治会要望による)**

**2,471万円**

財源：一般財源 2,471万円

**海外販路開拓等  
推進事業**

**500万円**

財源：一般財源 250万円  
国補助金 250万円

○国の地方創生推進交付金(補助率:1/2)を用い、安曇野市・池田町・松川村の広域連携でワサビ、日本酒、リンゴ、飲料水の海外販売の拡大を図る。併せて、外国人に安曇野の魅力をアピールして外国人旅行者の誘致を図る。今年度は市場調査を委託して行う。

○現在、国に申請中であり、認可されれば5ヵ年事業となる見込み。

○池田町としては販路開拓品に食用米・ワインも検討している。



**臨時福祉給付金**

**1,496万円**

財源：国補助金 100%

○高齢者福祉の一環として、全額国庫の給付事業

**《受給額・受給できる人》**

- 住民税非課税の方に3,000円給付(課税者の被扶養者や生活保護受給者などを除く)
- 障がい者・遺族年金受給の方に3万円給付(高齢者向け給付金の受給者を除く)

※福祉課で9月から支給申請を開始している。

**“花とハーブの里”  
地域おこし協力隊員1人増**

**198万円**

財源：一般財源 198万円

## 8月臨時会の概要

8月議会臨時会は8月1日開かれ、次の2件の議案を審議し、ともに可決した。

### 総合体育館耐震改修 工事の請負業者に (株)ユアークノを 認める

契約金額

3億6,300万9,600円

### 28年度一般会計補正予算 地区高齢者支えあい 拠点施設建設費増額

1,382万円

#### 町の説明

- 7月21日に10社参加で入札を行った。最低の入札額であった(株)ユアークノ(松本市 和田)を落札予定候補とした。
- 落札予定候補を審査し、7月27日に仮契約を結んだ。
- 本契約には議会議決が必要なため、臨時議会に上程した。

#### 本会議での質疑

- 問** 契約予定業者は町業者との共同企業体を組まない(単体契約)ので、町業者にも仕事がまわるように契約予定業者に要請できないか。
- 答** 工事単価で難しい面もあるが、要請はする。



平成26年度の整備事業で完成した「花見地区高齢者支えあい拠点施設」

#### 町の説明

- 4月臨時会で議決された国の補助金を用いた地区高齢者支えあい拠点施設のうち、滝沢・豊町・相道寺自治会から建設費の増額要望があり、増額補正した。増額分は自治会負担となる。

## 10月臨時会の概要

10月議会臨時会は10月11日開かれ、次の2件の議案を審議し、決議1件とともに可決した。

### 総合体育館耐震改修 工事の請負業者に 傳刀・小山特定建設 工事共同企業体 (大町市・池田町) を認める

契約金額

4億1,040万円

28年度一般会計補正予算

### 災害復旧予算

2,229万円

#### 町の説明

- (株)ユアークノが8月8日に事業を停止したため、9月28日に再入札を行い最低の入札額であった傳刀・小山特定建設工事共同企業体を落札予定候補とした。
- 落札予定候補を審査し、10月3日に仮契約を結んだ。

#### 議会協議会での質疑

- 問** 契約予定業者の経営状況を信用調査で確認したか。
- 答** 確認した。
- 問** 前回に比べ契約額が約4,600万円増えたが、どのように考えるか。
- 答** 入札した結果と理解している。ただし、国の交付税措置により町の実質負担額は約1,300万円ふえる。



工事が予定されている場所(広津桃の木)

#### 町の説明

- 8月1日・25日の豪雨災害及び台風16号により、町内7ヶ所で土砂崩れなどが発生した。国・県及び町の予算で修復する。……………1,720万円
- 同上の理由により農地・林道ほかが被災したので国・県及び町の予算で修復する。……………510万円

#### 決議

町の説明が不十分であったため、「事務の適正化を求める決議」を提出し、可決した。



### 「信州型自然保育認定制度」と連携した保育の取り組みは

横澤 はま 議員

【町長】 今後の研究課題として前向きに考えていく

**問** 「信州型自然保育認定制度」と連携した保育の確立を提案するが。

**答** 日常の教育保育計画に定める様々な課題に対応する中で、野外中心に毎日1時間確保が可能が検討する。園児の安全に配慮した保育を含め、研究課題とする。

**問** 認定子ども園の教育・保育方針の具体的な取り組みは。

**答** 食育推進・セカンドステップによる教育・地域や保護者との連携・野菜作り・環境整備など体験活動(遊びなど)・生活習慣を身につけるなどの取り組みを行う。

**問** 住民参加の施設建設に対する施策は

**答** 地域交流センターのソフト事業充実をどう考えているか。

育成塾の開催など主役は利用者という認識で再構築していく。

**問** 地域交流センターに伴う誘導路線の安全・安心な道路交通整備の対策はどのように考えているか。

**答** 交差点について公安委員会と協議を行い、交差点の形状、横断歩道、必要な安全施設を決める。位置・細部などは関係機関と協議し、安心な道路整備を進めていく。



### ハーブセンターについて町長はどう考えるか

矢口 新平 議員

【町長】 ハーブセンターは町の玄関であり、顔である

**問** 町長は憚てる坊市場の指定管理を来年度から3年間の延長を決めた。町長はハーブセンターをどのように考えるか。

**答** 花とハーブの町としてハーブセンターを再構築したい。リブランディング事業を取り入れ、ハーブ園の改修を行い、ハーバルヘルスツーリズム事業を行う。

特産品の開発を進め、癒される環境づくりを進めたい。

**問** 農産物加工センターについて

**答** ハーブセンター売店南にある農産物加工センターの将来計画は。

**答** 北安曇地方事務所から今年度中に施設の移管を行いたいと連絡



指定管理延長が決まったハーブセンター

があった。町は設置条例を制定し、指定管理にすることが望ましいと考える。

**問** 今年度の「ふるさと納税」額の予想は。

**答** 納税額は様々な経済状況で読めない。今年度は、ふるさと納税のPR発信を充実さ

せ、予算の1800万円以上を目標に増額を目指していく。

**問** 池田工業高校(以降池工)には町を上げた取り組みが必要と考える。町長の考えは。

**答** 池工は95年の歴史を有する地域校で、大北地域の唯一の専門学校である。多くの人材を輩出している。

**問** 池工専攻科設置運動が起こっている。町の取り組みは。

**答** 池工は町のみならず大北地域にとってなくてはならないと考える。また、定時制も大北地域では池工のみである。

沢山の署名をいただき、気持ちを県に届けたい。



池田の自然の中でやまほいく「安曇野シュタイナーこども園おひさま」(中島)



### 保育料全面無料化の 実施時期は

和沢 忠志 議員

【町長】財源の問題も勘案し、実施できるよう検討していく

**問** 町長公約の第2子以上の給食費の減免は。

**答** 今年度から一律一万円の減免をしたが、さらなる減免について、構成団体との関係、対象年齢、内容、実施時期、財源など十分検討し取り組んで行く。

**問** 町長公約としてふるさと納税5000万円の目標を掲げているが、見通しは。

**答** 目標を持って取り組んでいく。取り組みの一つとして、八ガキを全戸に配布し、友人、知人などへ直接ご案内して頂き協力を呼びかけていきたい。草の根の活動を通して増収につなげていく。

**問** 「子育て支援課」の設立についての考えは。

**答** 次年度の組織再編に向けて子育て支援について

この窓口を一本化した。現在の子育て支援センター部門をどのように組み込んでいくか検討していく。

**問** 産前・産後ケアハウス「助産院おりん」、認可外保育施設「安曇野シユタイナーこども園おひさま」との連携と支援策についての考えは。

**答** ともに町の政策と重なる部分が多いので連携が不可欠と考え。近隣の市においても運営補助制度ができたことから今後の予算編成の中で検討して

いく。



二丁目に開設された「産前・産後ケア 助産院おりん」

**問** 農業の法人化の構想とめどは。

**答** 今年度、池田町営農センターに法人化推進部会を設置し運営方法、経理方法を検討し29年度末までに法人化を目指す。

**問** 中小企業振興条例（仮称）は、理念条例だと聞く。町の経済活性化に期待できるのか。

**答** 中小企業や個人事業主の自助努力、産・官・金融機関の役割を明確化し中小企業者などを応援していく内容である。

### 就学援助の入学準備金を 入学前に支給を



服部 久子 議員

【教育課長】中学校入学生徒には3月に支給したい

**問** 現在、就学援助の入学準備金は7月に支給されている。入学前に支給できないか。

**答** 中学校入学生徒には、3月に支給したい。

**問** 入学の前々年度の税金納付額で判断すれば小学校入学生徒にも適用できるのではないか。

**答** 30年度の国保法改正は不透明で慎重に対応したい。

**問** 所得300万円の4人家族の国保税は、4万4000円である。18歳未満の均等割1人分の2万7500円を軽減できないか。

**答** 被保険者全体の負担軽減を考える。

**問** 30年度から国保運営が県単位になる。町独自で保険税の軽減ができるか。

**答** 標準保険料率は、県

から示されるが、保険税は町が決定する。

介護保険制度改定での町対応は

**問** 介護保険改定で在宅介護が増える。状況は。

**答** 施設入所は控える傾向はないが、在宅サービスの利用回数を減らす傾向がある。

**問** 総合支援事業は、支援者の確保が必要だが、認知症が多く見通しはどうか。

**答** 支援者確保は厳しい。10月に広域で人材育成講座が7回開かれる。認知症対応は事業所利用も考えている。



安曇野赤十字病院内の病児保育室



### 人間ドック補助金の改善を

薄井 孝彦 議員

〔福祉課長〕 来年度、改善に向け検討する

**問** 町の間人ドック補助金は後期高齢者医療保険加入者（75歳以上）には補助されていない。また、国民健康保険加入者には補助されているが、近隣自治体に比べ補助額が低い。改善できないか。

**答** 10月以降「地域おこし協力隊員」2名を採用し、総務課に配属する。主に「空き家」を利用していただけるかを調べる。

**問** 防災対策について

**答** 防災対策を進める職員体制の整備は、10月から防災担当の職員1名を庁内から総務課に配置する。また、来年度から防災に詳しい方を外部から登用し、2名体制で取り組む。

**問** 移住定住促進策について

**答** 移住定住促進を図るための施策は、

高瀬川洪水時の避難水位標示板（高瀬橋右岸）



高瀬川洪水時の避難水位標示板（高瀬橋右岸）

**問** 異常気象により大雨災害が発生している。この対策として事前防災計画（夕

イムライン）の策定は有効と言われている。町に合ったタイムラインの早急な策定を。

**答** 策定できるような検討していきたい。

**問** 大型建築工事の入札について

**答** 国は建築工事の品質を確保し、技能労働者の雇用条件を改善するため法律を改正し（改正品確法）、地方自治体に要請文書を出している。町はこの要請に基づき入札業者を指導できないか。

**答** 業者に国の通達内容をしっかりと伝える。

**問** 改正品確法を活かすため、落札額の基準（最低制限価格）をひき上げられないか。また、落札者決定に総合評価方式の導入を検討できないか。

**答** 最低制限価格・総合評価方式の導入とも検討していきたい。

※ 入札額・技術力・技能労働者の労働条件改善努力などの項目を点数で評価し、総計で最高点の業者を落札者とする方式。



### 池田ふるさと祭りの今後の方向性について

倉科 栄司 議員

〔町長〕 新たな発想で見直しを検討していく

池田ふるさと祭りの今後の方向性について

**問** 池田ふるさと祭りの踊りの連への参加者が近年毎に減少している。

**答** 池田ふるさと祭りの踊りの連への参加者が近年毎に減少している。減少する要因は様々なものがあると考えられるが、踊りのひとつである「サンババてるてる坊主」はリズムが速く難しいという声

**問** 来年に向けて好評なものは継続しつつ、メ

**答** 員会の反省ではこういった意見等はないか。反省会では「サンバてるてる坊主」は動きが激しく高齢者は長く踊れないといった意見に対し、若い人達からは盛り上がりつつありと相反する意見も出されている。要望は十分検討する。

**問** 来年に向けて好評なものは継続しつつ、メ

**答** インの会場や内容変更など、より多くの人が参加できるように大幅な見直しを図ることが必要では。

**問** 新たな発想での検討も必要との意見もでて

**答** 企画等全般にわたり新たな委員も加え見直しを図っていく。



池田ふるさと祭り

食品ロス削減に向けた取り組みについて

**問** 食品ロスの削減に向けた取り組みのひとつとして、宴席での料理の食べ残しを減らす30・10（さんまる・いちまる）運動が松本市を発信の地として取り組みが前進している。この運動は宴席で宴会開始後の30分間と終了前10分間は自席から離れず、料理を残さず食べることにして食品ロスを減らすとする取り組みである。行政関係者が出席する宴席から、この運動を積極的に取り入れることが必要ではないかと考えるが。

**答** 食品廃棄物の問題は可燃ごみの増加につながり、地球温暖化に大きな影響を与える。積極的に取り組むたい。

**問** 家庭や地域で食品ロスの削減に向けた取り組みがなされるようチラシなどを作成し、運動のPR活動に取り組みすることが必要では。

**答** チラシ・ポスターなど作成し全町に呼び掛ける。



### 遊休地を活用したRVパークの設置を

矢口 稔 議員

【町長】 来年度に向け設置が可能か検討する

**問** 当町は大北地域でも宿泊者数が極端に少ない。町が所有する遊休駐車場や遊休地をRVパーク(車中泊ができるスペース)として活用できないか。

**答** 観光客等の滞在時間を長くし、観光消費額の増加につながる対策のひとつと考える。適地や費用対効果など研究する中

**問** キャンピングカーなどに優しいまちづくりとして、パンフレット・クーポンなど配布できないか。

**答** 一般の観光客も利用できる形で、可能かどうか検討したい。

**問** 町民カレンダー作成は情報の確に伝える手段のひとつとして、以前から町民カレンダーの作成を提案している。検討結果は。

**答** 二丁目自治会からも要望をいただいている。生活情報の入ったカレンダーを来年度作成に向け前向きに検討する。

**問** 町ホームページの更新が10月に予定されている。利点と課題は何か。

**答** 利点は、記事の更新が簡単。古い情報が残らない。視覚障がい者や外国の方への翻訳機能を有するなどである。課題は、職員の負担増などが考えられる。また、定期研修等で情報発信能力を高めるとともに、戦略的広報を意識する必要がある。



有効利用が期待される駐車場(クラフトパーク下)

**町道に愛称表示を**

**問** 昔から町内の道には愛称がついていた。西国道、殿小路などである。しかし、時代とともに忘れ去られてしまっている。道案内にも苦労することもある。親しみやすい愛称を付けられないか。

**答** また、南台自治会では数年前より愛称を募集、決定し利用されているケースもあるが、愛称については地元暮らしの中で自然に生まれたことも考慮すべきであり、大事にしたい。今後は、南台自治会の例を参考にするなど、検討したい。具体的な案があれば教えていただきたい。



### 町民サービスの向上を図るには

大出 美晴 議員

【町長】 計画的な職員採用と組織の見直しを考えている

**問** 町長は、庁内の職員の仕事量と仕事内容を、どう見ているか。

**答** 近年、行政も複雑多様化している。更に、国の制度改正や地方創生、国や県からの権限委譲が増えている。人手不足解消や仕事の細分化が必要であると感じている。

**問** 庁内の体質改善が必要ではないか。

**答** 町の将来像を見据えるなかで、計画的な職員採用と組織の見直しを行い、次年度新たな組織再編を考える。

**池田工業高校を含め学校との連携は**

**問** 池工生への通学における交通の不便さへの対応として通学バスの運行を。

**答** 現状としては経費面、その他の問題から取り組みは難しい。入学希望者を増やすことは重要で、他の方法も併せ今後検討する。

**「あいさつ運動」を含め、町民と学校のつながりをどう進めるか。**

**答** 「あいさつ運動」は子どもたちに浸透し始めている。大人が率先してあいさつし、言葉をかけることで絆ができ、人間関係が生まれる。それが町全体に広がり、和やかな町づくりにつながることを願う。

**ワイナリー構想とまちなかの商工業の取り組みを**

**問** ワイナリー構想のなかで、ワイナリーを民間の醸造者に任せるのか、町が建設するのか。その道筋は。

**答** 来年度、大町市と広域特区の申請をする。ワイナリー建設は、県内外の状況も参考にし、建設・運営方法を検討する。

**中小企業振興基本条例(仮称)の検討はどこまで進んでいるのか。**

**答** 現在、素案の検討を行っている。今後条例制定に向けた検討委員会を組織して、検討を進めていく。中小企業者などへの振興策を積極的に推進し、地域経済の活性化につなげていきたい。

次年度新たな組織再編を計画している役場





### 水資源を守るための規制は

桜井 康人 議員

〔住民課長〕 北アルプスの美味しい水は大切に、守っていく必要がある

**問** 町使用の地下水の現状と将来の展望は。

**答** 取水量の実績は平成27年度、年間91万1454m<sup>3</sup>、日平均2490m<sup>3</sup>で計画取水量の46%である。地下水位、水質は安定している。

**問** 水資源を守るための規制は。

**答** アルプス地域地下水保全対策協議会で共有財産である地下水の保全に努めるべく、広域的な



きれいな沢水（滝沢権現）

ルールづくりを協議しておりその状況により独自の規制、条例化を考えた。

**問** 東山一帯の天然水の調査及びPRの考えは。

**答** 現在町は、坂下地区で伏流水を使用している以外把握しておらず、現時点では調査は考えていない。

**問** 教育問題について

**問** 子どもは町の宝である。宝になりえるための教育環境と先生と生徒、生徒同士のコミュニケーションは。

**答** 本年度、「池田町教育大綱」を作成し、町が目指す子どもの将来像を示した。全ての子どもたちを将来像に近づけるための環境整備をしていく。また各学校で具体的なコミュニケーション授業を

取り入れ、先生と生徒、生徒間の信頼関係を深めている。

**問** 次期学習指導要領案での小学校の英語の教科化とアクティブラーニングについて現場の反応は。

**答** 要領では「なにを学ぶか」を視点とし、その一つが英語能力の強化である。3年生が35時間、5・6年生は英語を正式教科とし70時間に増える。アクティブラーニングは課題解決学習、グループ学習であり、その目的は深い学びと気づきを求めるものである。

**問** 子どものスポーツ振興の現状は。

**答** スポーツ効果は物事に対する集中力、頑張る力が養われる。小学校での持久走、中学での朝練効果を入スポーツ全般に生かして生きたい。

**問** 特色ある教育を支援する教員配置事業の現状は。

**答** 重点事項を絞り、地域おこし協力隊の活用も検討し、スポーツ、郷土学習、里山遊び、都市交流分野が考えられる。



## 町商工会から出された「法人町民税改正に関する請願」について 町の回答

### 【理由】

① 標準税率を適用すると約330万円程度の町税が減る。

② 町は平成27年度から人口ビジョン・総合戦略を策定し、人口減対策として若者・子育て世帯の移住定住促進・子育て支援（第3子保育料の無料化・若者定住地の造成）に取り組んでいる。

町議会は町商工会から出されていた請願（法人町民税法人割を現行の制限税率（12・1%）から標準税率（9・7%）に適用を求め）を6月定例会で採択した。議会は請願のとり扱いについて9月定例会までの報告を町に求めていた。

また、平成27年度から31年度の5カ年で総事業費2億3590万円の社会資本総合整備事業を進めている。これらの事業の推進を図るには財源確保が必要となるので、制限税率を維持したい。

## “池田ふるさと祭り” 熊本地震募金協力御礼

去る7月23日に行われた“池田ふるさと祭り”に町議会は熊本地震救済募金活動で参加させていただきました。おかげさまで、19,781円の募金が集まり、8月1日、熊本県共同募金会へ送りました。

皆様の温かいご協力に感謝し、報告とさせていただきます。



# シリーズ 町民の 皆さんに聞く

— 第1回 —



水野 龍二さん (滝沢)

## 略 歴

- ・昭和21年6月、池田町陸郷生まれ(70歳)
- ・蚕業技術士、水野建設社主、夢農場代表
- ・陸郷の東山斜面の遊休桑園を4万m<sup>2</sup>のラベンダー園に開拓。ラベンダー、カモミール、菜の花、アジサイ、桜(4400本)などを植栽桃源郷を思わせる心地良い空間を作り上げる。春の桜・夏のラベンダー祭りなどで山間の集落に年間5~7万人の観光客を創出する。ラベンダー入浴液、夢美茶などの特産品を開発、ラベンダースティックづくりなどの講習会も実施。
- 長年の地域づくりの功績が認められ、平成22年財団法人地域活性化センターの「地域づくり総務大臣賞」を受賞

今号から町民の皆さんにお聞きした生の声を届けます。

### ◎夢農場をつくったきっかけは？

町と私どもと連携して町に残る新しい産業を創ろうと思って「花とハーブ」を始めたとき、池田町でハーブの見本園をつくった記事が新聞に載った。そしたら、若者が数名それを見に来ましてね。見本園といっても、試験的にやっていた本場に小さいものだった。それを見せたら『なにこれ？馬鹿にしてんの』と言って車から降りずに帰ってしまった。これはマジいな、やっぱり人が来て納得するようなハーブ園をつくるべきだと思い、自ら始めた。

人はいろいろ言うけど、誰もやらない、手を出さない。先ずやるのが大切だと思っ。

### ◎夢農場をつくるうえで苦労した点は？

夢農場の土質がラベンダーに合わず、2回全部枯らした。世界から82種のラベンダーを取り寄せ、陸郷の土質にあつたラベンダーを残した。また、ラベンダーの持つている土壌改善力により土質が改善され解決した。

### ◎今後の夢農場への思いは？

夢農場を「花の谷」にしようとして、菜の花、などを植えてきたが、今年から5

00m位の「バラの街道」をつくろうと植栽を開始している。

また、香りのハーブとして山椒の試験栽培を開始した。

経済性があえば、多くの人にやってもら

い、一人住まいの高齢者などの働く場にできればと思っっている。

### ◎町・議会へ望むことは？

池田町を「花とハーブの里」にすることは良い目標である。それを実現させるきちつとした企画を持って欲しい。そのため

に、実際にハーブをやっている人の

声を十分に聞いて欲しい。また、適格な判断をするために情報力を身に付けて欲しい。

また、もっとスピーディーな行政を望む。議会も力をいれて欲しい。



桜と菜の花が咲く春の夢農場(陸郷)

## 議員視察報告

### 北海道池田町 ワイン祭りを訪れて

薄井 孝彦



10月2日、議員視察で北海道池田町のワイン祭りに参加した。多くの人が緑の清見ヶ丘公園(写真)に集い、ワインや道産牛の焼肉を楽しむ。しかし、ここまでに至るには幾多の苦労があった。寒冷の地で赤字再建団体からの脱却をワインの生産・販売にかけ、町事業として約30年をかけた成功させた。これまで20億円を超える収益金を町財政に入れ、学校PTA会費の無料化や音楽ホールの建設に使われている。成功は町長・職員・町民が戦略にもとづき連携して全力を尽くした事による。当町でも産業振興により税収増を実現しなければならぬ。町の資源を産業振興に活かす取りくみを強めなければと改めて思った。

## 編集後記

今年 は農作物の収穫が、一週間から10日程例年より早く、稲刈りも9月の声を聞く前に始まりました。ところが9月の中旬頃からの秋雨前線の活動により、稲刈りは遅れ最終的に10月にずれ込んでしまいました。自然には逆らえません。

9月議会は前年度の決算を中心に全ての案件が可決・承認されました。本年度も後半に入りま

す。そして、秋です。芸術文化にスポーツ・行楽に実りの秋…。間もない冬の訪れの前に、活動的な秋を過ごしましょう。

(倉科 栄司)

### 議会報編集特別委員会

- 委員長 薄井 孝彦
- 副委員長 桜井 康人
- 委員 倉科 栄司
- 委員 矢口 稔
- 委員 大出 美晴
- 委員 立野 泰